

明星大学発達支援研究センター紀要投稿規程

1. 明星大学発達支援研究センター紀要MISSION(以下本紀要という)は、発達障害に関する国内外の学術調査・研究を掲載し、発達障害への支援に関する知見を蓄積・発信することをもって、明星大学及び社会に貢献することを目的として刊行される。
2. 本紀要は、年1回、当該年度内に発行することを原則とする。紀要は電子化し、大学の機関リポジトリに掲載する。その他必要に応じて紙媒体及び抜刷りを作成する。
3. 本紀要の原稿募集・編集は発達支援研究センター紀要編集委員長と編集委員が行う。編集委員長は明星大学発達支援研究センター長とする。編集委員長は編集委員を指名する。
4. 本紀要に投稿できるものは以下の通りとする。
 - ①大学教員(国内外を問わない。投稿の際、所属、肩書き、住所、電話番号、所属機関から発行されている投稿者のメールアドレス(Gmailなどのフリーメール、自宅のメールは不可)が明記されていること)
 - ②当センターに所属する研究員
 - ③本紀要編集委員が認めるもの
5. 本紀要への投稿は未発表、未投稿のものに限る。ただし、口頭発表の場合、その旨を明記してあれば対象とする。
6. 本紀要に掲載する原稿の種類は以下の通りとする。
 - ①原著論文
 - ②実践報告
 - ③資料
 - ④総説
 - ⑤活動報告
 - ⑥短報
 - ⑦その他紀要編集委員会が認めたもの
7. 投稿原稿は査読制とする。査読は、編集委員長が指定する者が行う。採否は、査読者の審査に基づき、編集委員長が決定する。
8. 校正は原則として1稿までとし、執筆者が行うものとする。校正は単に誤植の訂正など、必要最低限に止める。
9. 執筆者には本誌5部、抜き刷り20部を贈呈する。抜き刷りの追加を必要とするものは、原稿送稿時か校正終了時に申し出のあった場合に限り追加作成する。ただしその追加作成分は実費を徴収する。
10. 本紀要に掲載された論文の著作権は明星大学発達支援研究センターに帰属する。ただし、執筆者自身が自分の論文を利用することは差し支えない。
11. 執筆要領は別に規定する。
12. 本規定は2019年7月1日より実施する。

明星大学発達支援研究センター紀要 執筆要領

1. 原稿の枚数

原稿は図表を含め、原著論文、実践報告、資料いずれも2万字以内とする。
図、表、写真は原則としてそれぞれ1点を刷り上がり4分の1ページ(650字)相当とする。

2. 原稿の様式

- ①原稿はA4用紙、横書きを原則とし、ページ番号をつける。
- ②横書きを原則とする。
- ③図表は挿入箇所を明記すること。表の場合、表1. 表2. として該当する表の上に説明文を入れる。図の場合、図1. 図2. として該当する図の下に説明文を入れる。
- ④著者以外が作成した図表や写真等を記載する場合は、出典を明記し、必要な場合は著作権者の許諾を得ること。
- ⑤章分けは1. 2. 3とし、節は1. 1.、1. 2.、1. 3とし、項は(1) (2) (3)とし、それぞれ小見出しをつける。
- ⑥論文には英文題名、英文著者名、所属を必ずつける。
- ⑦原著論文には400字以内の要旨とそれに対応した英文サマリー300語以内をつける。実践報告、資料には400字以内の和文要旨をつける。
- ⑧論文には3-5語の検索用キーワードをつける。

3. 文献表記

- ①文献は本文中に引用したもの(原則として、直接当たった文献に限定する)のみをあげ、本文の後に筆頭著者のアルファベット順に並べる。
- ②雑誌など逐次刊行物の名称は省略せずに記載する。
- ③著者名は3名以下のものは全員、4名以上の場合は3人目までを全員書き、4人目からはet.al(または他)とする。
- ④書き方は、雑誌の場合は氏名、発行年次、論文題名、雑誌名、巻、ページの順に、単行本の場合は著者名(編集者名)、発行年次、書名、発行所名、発行地(国内は不要)、ページとする。

記載例

McCloskey, G. (1990) : Selecting and using early childhood rating scales. *Topics in Early Childhood Special Education*, 10(3), 39-63.

Flanagan, D. P., Ortiz, S. O., & Alfonso, V. C. (2008) : Response to intervention (RTI) and cognitive testing approaches provide different but complementary data sources that inform SLD identification. *Communiqué*, 36 (5), 16-17.

上野一彦(2005) : 発達障害児への理解と支援の立場から. *発達障害研究 = Japanese Journal on Developmental Disabilities*, 27(2), 95-97, 2005.

杉山登志郎, 原 仁(2003) : 特別支援教育のための精神・神経医学. 学研教育出版.

編集後記

元号が平成から令和へと変わり、明星大学発達支援研究センター紀要『MISSION』は、本誌で5号目の発刊を迎えることができました。発刊にあたりご協力いただきました先生方には、心より御礼申し上げます。

「平成」は、日本において発達障害に関する認識や理解が広まった時代であったと思われます。近年、世界的に「多様性」を重視するダイバーシティ社会への取り組みが進められている中、「令和」の時代は、より個に応じた支援が求められるようになると予想されます。

今号は、様々な機関で発達障害児者に関わっておられる先生方からのご寄稿や当事者の方の声など、多種多様な立場から示唆に富んだ知見を賜りました。特集「自己決定力を育む支援」では、発達障害のある人が就労の際に直面する様々な問題に対して、より実践的な内容をお届けできたことと思います。

それぞれがそれぞれの望む生き方を実現するために、当センターの研究・実践・発信がご本人とそれを支える周囲の方々への助力となれるよう、今後も邁進し続けて参ります。

(編集委員を代表して 林 真理佳)

明星大学発達支援研究センター紀要 MISSION 第5号

2020(令和2)年 2月20日 印刷
2020(令和2)年 3月 1日 発行

発行者 明星大学発達支援研究センター
センター長 小 貫 悟
編集者 明星大学発達支援研究センター紀要編集委員会
発行所 明星大学
東京都日野市程久保2-1-1
電 話 042-591-5111(代表)